

岩隈久志 PRESENTS 「キット、ずっと杯 in 熊本」
第17回 武蔵ヶ丘旗争奪学童軟式野球大会 実施要項

1. 目 的 本大会を通じて野球技術の向上を図り、互いの友情と心身の健全な育成を図る事を目的とする。
2. 主 催 ネスレ日本株式会社
3. 主 管 武蔵ヶ丘野球クラブ後援会
4. 協 賛 ダイワマルエス株式会社
スポーツデポ熊本インター店
5. 開 催 日 平成28年11月12日（土）、13日（日）、19日（土） 予備日 11月20日（日）
開会式 平成28年11月12日（土） 午前8時15分
熊本県民総合運動公園 軟式野球場B（熊本市東区石原2丁目9-1）
※午前7時受付開始。午前7時45分までに受付を済ませ、選手は8時5分には入場行進のできる
隊形でライト側後方にご集合ください。
※各会場の試合開始時刻は、組み合わせ表によりご確認ください。
6. 会 場 熊本県民総合運動公園 軟式野球場A・Bコート、ソフトボール場A・Bコート
清水新地野球場A・Bコート（熊本市北区清水新地7丁目5-1）
菊陽町民総合運動場A・Bコート（菊池郡菊陽町久保田2785）
合志市総合運動公園多目的グラウンドA・Bコート（合志市合生3917-3）
菊池恵楓園グラウンドA・Bコート（合志市栄3796）
合志市立合志小学校（合志市上庄55）
菊陽町立武蔵ヶ丘中学校（菊池郡菊陽町光の森1丁目3518）
7. 決 勝 大 会 本大会の優勝・準優勝チームは、同時期に開催される第8回城西杯学童軟式野球大会の優勝・準優勝チーム
との「キット、ずっと杯 in 熊本」決勝大会を開催。
開催日：平成28年12月3日（土）・4日（日）
会 場：熊本県民総合運動公園軟式野球場A・Bコート 他
8. 参 加 料 無 料
9. 参 加 資 格 小学生で編成され、スポーツ傷害保険に加入済みのチーム。
10. チーム編成 監督1名、コーチ2名以内、スコアラー1名、マネージャー1名以内、選手15名以内とする。
なお、登録選手の変更がある場合は、当日のオーダー表を優先とする。
※選手のベンチ入りは何人でも可とするが、必ずスポーツ安全保険に加入していること。
11. 使 用 球 公認軟式野球ボール マルエスC号（主催者側で準備します。）
12. 試合方法 ① 大会はトーナメント方式とし、試合は7回戦とする。
② 試合時間は1時間30分とし、制限時間を過ぎて新しいイニングに入らないものとする。
※決勝戦は2時間30分以降新しいイニングに入らない。
③ 5回以降7点以上の得点差がついた場合はコールドゲームとする。（決勝戦は除く）
④ 試合時間の計測は、球審のプレイコールから開始する。
⑤ 7回を終了して同点の場合、もしくは制限時間を過ぎて同点の場合は、特別延長戦（タイブレーク）を
最大2回まで行う。（無死満塁で継続打者、走者はその前位の打者）それでも勝敗が決しない場合は、
最終出場選手9名の抽選（ジャンケン）により勝敗を決する。ただし、決勝戦に限り勝敗が決するまで
特別延長戦を継続する。

- ⑥ 投手の投球制限については、健康維持を考慮し1日7イニングまでとする。ただし、特別延長戦直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げることができる。
投球イニングに端数が生じた場合（3分の1回未満の場合も含む）も1イニング投球したものとして数える。
- ⑦ 危険防止のため、打者・走者・ベースコーチはヘルメットを着用し、捕手はスロートガード付きマスク・捕手用ヘルメット・レガース・プロテクター・ファウルカップを着用すること。
- ⑧ 試合開始予定時刻前であっても前の試合が終了し準備が整い次第、次の試合を開始する。試合開始予定時刻30分前にはメンバー表4部を各会場の本部に提出すること。その際に攻守決定を行う。
なお、試合開始予定時刻になっても試合を開始することができないチームは棄権とみなし、相手チームの勝利とする。
- ⑨ 本大会は、2016年度全日本軟式野球連盟規則及び本大会実施要項を適用し、会場毎のグラウンドルールは当日会場にて決定する。

13. 表 彰	優 勝	賞状・優勝旗・優勝メダル（15個）
	準 優 勝	賞状・準優勝トロフィー・準優勝メダル（15個）
	第 3 位	賞状
	入場行進賞	2チーム表彰（元気な行進で開会式を盛り上げてください。）

14. 審 判
- 主審（球審）は熊本県軟式野球連盟が行います。塁審等につきましては、下記の要領により試合を行う当該チームにてお願いします。
- ① 第1日目：1、2回戦は1 塁側から2名、3 塁側から2名選出
※（1 塁側）1 塁審判・ボールボーイ （3 塁側）2 塁審判・3 塁審判
- ② 第2日目：3、4回戦は1 塁側から1名、3 塁側から1名選出
※（主催者）1 塁審判 （1 塁側）2 塁審判 （3 塁側）3 塁審判
- ③ 第3日目：準決勝、決勝は主催者側で行う。

15. 注 意 事 項
- ① 審判の判定に対して、保護者、応援者は批判をしないこと。
- ② 応援は選手への激励を旨とし、野卑な応援や相手選手への個人攻撃、鳴り物などの使用は一切禁止する。
※ベンチ内でのメガホンは、1個に限り使用を認める。
- ③ 試合中の抗議は禁止する。ただし、アピールは監督又は当該プレイヤーに限り行うことができる。
- ④ ファウルボールはライト側を1 塁側チーム、レフト側を3 塁側チームが処理し、バックネット方向は攻撃するチームが処理すること。
- ⑤ 試合のベンチは組み合わせ表の若番を1 塁側とする。
- ⑥ 試合中の負傷・事故に関しては大会本部で応急処置は行うが、以後の処理については主催者側は一切の責任を負わない。（各チームで必ずスポーツ安全保険に加入すること。）

16. そ の 他
- ① 開会式にはプラカード・チーム旗を持参のうえ、全チーム参加してください。
- ② 試合終了後、試合を行った両チームでグラウンド整備を行ってください。また、公共施設を利用していますので、飲食後の清掃やタバコ吸殻の後始末、ゴミの持ち帰りをお願いします。
- ③ 監督会議を8時00分から行います。（時間等を一部変更する場合があります。）
- ④ 雨天時による態度決定は午前6時に行います。中止・順延の場合は、各チームの連絡責任者の方へ、大会事務局より連絡させていただきます。※午前6時～午前6時30分
なお、順延の場合は、試合会場や試合開始時間を変更する場合があります。
※お急ぎの場合は、大会事務局へお問い合わせください。
- ⑤ 試合中の審判員へのお茶出しを、試合中の両チームからお願いします。
※1 塁側チーム：球審と1 塁審判 3 塁側チーム：2 塁審判と3 塁審判
※お茶を出すイニングについては、3・5回裏終了時とします。

【お問い合わせ】

武蔵ヶ丘野球クラブ監督	山本 光広（携帯 090-3666-8894）
武蔵ヶ丘野球クラブ後援会長	堀 裕介（携帯 080-5242-2093）
第17回大会事務局	竹添 雄一（携帯 090-4998-8649）